

友の心の悲鳴が君には聞こえるか

本日3・4時間目に、全校による「いじめ見逃し0スクール集会」を実施しました。下記は、その際の校長講話で使用したパワーポイントの内容の一部（7/18枚）です。

子どもに関わるすべての人間の、「いじめ」を決して許さない、見逃さないという断固たる決意が必要です。学校でも、いじめの、未然防止・早期発見・迅速対応に、全力で取り組みます。すべての子どもたちの笑顔のために！

<「いじめ」に関する私たちの問題点>

◇「いじめ」について

理解していない、理解が不十分である。

◇「いじめ」を、自分事として

とらえていない。

(※『私たち』とは、生徒も教師も保護者も世の中の人)

A. 「いじめ」って何だろう？

<法律で定めている定義を皆さんにわかりやすく言うならば>

新津第二中学校で

- ① 学校で一緒に過ごす他の友達に対して、その人が自分がよく知っている人でもそうでない人であっても、同級生であろうが、先輩後輩であろうが
- ② 本人が言われて嫌な気持ち、つらい気持ちになったりすることを言ったり、相手の身体に危害を加えたり、相手の所有物に損害を加えたり、ネット等で悪口を言ったり中傷するような行為など
- ③ そのことで、相手が心の底から「つらい」「やめてほしい」と思っている。

A. 「いじめ」って何だろう？ <判断基準>

- ・「ちょっとふざけただけじゃないですか」
- ・「このくらいのことで？」
- ・『ふざけ』や『いじり』と何が違うの？



いじめられた側が

「つらい」「やめてほしい」

と思っていれば、れっきとした『いじめ』

B. なぜ「いじめ」はいけないの？

<誰もが思っている普通の考え>

- ・悪いことだから
- ・人として最低な行為だから
- ・法に反することだから

<こんな考えもある> 「なぜ『いじめ』はいけないのか？」

- ・それがわからない人、真剣に考えない人が、いじめる側になってしまう。
- ・一度いじめられる側に立ったら、その人はそれがわかるかもしれない。

<私なりの考え>

「いたずら」、「悪ふざけ」、非礼失礼・軽率な行為等、やってはならない事はたくさんあるでしょうが

「いじめ」は、他人の「**命**」と「**プライド**」を奪う 危険性

つまり 取り返しのつかない事態になる可能性 が特に大きい行為だから

★「命」：死に追いやる

★「プライド」：人権や人格をズタズタにする

C. 「いじめ」はなくならないの？

「生きる」ということは、人間関係を模索するという事なので 「いじめ」がなくなることは、多分あり得ない。

- ◇「いじめ」をなくしようと努力すること
- ◇「いじめ」を見逃すことを「0」にすることは 可能であり私たちがなすべきこと！

「いじめ」を自分事として捉える

全校生徒の皆さんに望むこと！

次の2つのことに向かって、日々の学校生活や家庭生活等を通して

①繰り返し繰り返し、②自分の頭でしっかり考え、③そして行動する。

- ・「いじめ」について、理解を深める。
- ・「いじめ」を、自分事としてとらえる。

<みんなに特に身に付けてほしいことは、いろんな言葉で表現できます>

- ・ 道徳心 ・ 共感性 ・ 善悪の価値観 ・ 相違への理解
- ・ 集団のルール ・ 他人の痛みがわかる想像力
- ・ 自制心 ・ やさしさ ・ 思いやり ・ 正義感

学校や先生方は「いじめ」に対して

- ・ いじめを、絶対に許しません。
- ・ いじめが起きないための、予防に全力を傾けます。
- ・ いじめが起きて、すぐ発見できるように全力を傾けます。
- ・ いじめが起きたら、その解決に全力を傾けます。
- ・ 本当のことがわかるまで当事者や周囲の人の話を聞きます。
- ・ 当事者のおうちの方とも、よく相談・協力させていただきます。
- ・ いじめの予防・発見・解決のため、保護者や地域、学校外の関係のあるいろいろな組織のすべての人たちと協力します。